

## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ADEKA

コード番号 4401 URL <https://www.adeka.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 城詰 秀尊

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 法務・広報部長 (氏名) 小八重 文武 TEL 03-4455-2803

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績 (2024年4月1日～2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	98,160	3.8	8,688	17.1	9,731	19.4	6,821	33.2
2024年3月期第1四半期	94,596	△7.0	7,422	△18.1	8,150	△21.9	5,120	△16.6

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 12,626百万円(△5.6%) 2024年3月期第1四半期 13,371百万円(2.6%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期第1四半期	66	79	—	—
2024年3月期第1四半期	50	03	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	543,854		345,543		53.5	
2024年3月期	543,057		339,682		52.5	

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 290,851百万円 2024年3月期 285,143百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	—	40.00	—	50.00	90.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	45.00	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	197,000	5.0	17,000	14.9	16,900	8.8	11,700	10.9	114	56
通期	426,000	6.6	39,200	10.6	38,400	7.4	24,200	5.3	236	95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	103,768,142株	2024年3月期	103,768,142株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	1,636,629株	2024年3月期	1,636,449株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	102,131,553株	2024年3月期1Q	102,347,262株

(注) 当社は株式給付信託(J-ESOP)制度を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めています。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(会計方針の変更に関する注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2024年4月1日から同年6月30日）における世界経済は、中国経済の減速や中東情勢等の先行きが懸念されましたが、景気回復と物価安定に向けた各国の経済・金融政策の効果もあり、底堅い成長が続きました。

このような情勢のもとで、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、以下の通りとなりました。

## 連結経営成績

(単位：億円)

	当第1四半期	前年同四半期	増減	増減率(%)
<b>売上高</b>	<b>981</b>	<b>945</b>	<b>35</b>	<b>3.8</b>
化学品	564	497	66	13.4
樹脂添加剤	277	246	31	12.9
情報・電子化学品	107	94	13	13.8
機能化学品	179	157	21	13.9
食品	209	207	2	1.1
ライフサイエンス	192	221	△29	△13.3
その他	14	18	△3	△20.3
<b>営業利益</b>	<b>86</b>	<b>74</b>	<b>12</b>	<b>17.1</b>
化学品	75	55	19	36.0
樹脂添加剤	31	17	13	74.7
情報・電子化学品	23	25	△1	△5.0
機能化学品	20	12	7	63.2
食品	13	3	10	272.7
ライフサイエンス	▲3	11	△15	—
その他	1	3	△2	△61.1
<b>経常利益</b>	<b>97</b>	<b>81</b>	<b>15</b>	<b>19.4</b>
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>68</b>	<b>51</b>	<b>17</b>	<b>33.2</b>

注)金額は億円未満を切捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入。

報告セグメント別の概況は以下の通りです。

## (化学品事業) 増収・増益

化学品事業を構成する樹脂添加剤、情報・電子化学品、機能化学品の概況は以下の通りです。

## ① 樹脂添加剤 増収・増益

サプライチェーンにおける余剰在庫の解消や自動車生産の回復を背景に、家電筐体やEV部材向けの難燃剤、自動車向けの光安定剤等の販売が好調に推移しました。

## ○主要因

売上高	(好調) 難燃剤 (家電筐体、EV部材) (好調) 光安定剤 (自動車部材) (好調) 塩ビ用安定剤 (住宅内装材) (低調) 汎用酸化防止剤 (プラスチック製品全般)
営業利益	(+) 価格、数量、為替 (−) 固定費

② 情報・電子化学品 **増収・減益**

旺盛なAI関連投資を背景に半導体需要が回復し、先端DRAM向け高誘電材料、先端フォトレジスト向け光酸発生剤の販売が好調に推移しました。利益面は、設備投資に伴う固定費の増加等もあり、減益となりました。

○主要因

売上高	(好調) 高誘電材料 (先端DRAM) (好調) ブラックマトリクス樹脂 (ディスプレイ) (好調) 光酸発生剤 (先端フォトレジスト) (低調) エッチング薬液 (ディスプレイ)
営業利益	(-) 価格、固定費 (+) 数量、為替

③ 機能化学品 **増収・増益**

自動車のエンジンオイルに使用される潤滑油添加剤の販売が、米国や中国での採用拡大とハイブリッド車等の生産回復を背景に好調に推移しました。また、住宅等の建築塗料に使用される反応性乳化剤の販売が、インドや中国での採用拡大を背景に好調でした。

○主要因

売上高	(好調) 潤滑油添加剤 (自動車エンジンオイル) (好調) 反応性乳化剤 (建築塗料) (好調) 特殊エポキシ樹脂 (自動車の構造用接着剤)
営業利益	(+) 数量、為替 (-) 固定費

**(食品事業) 増収・増益**

東南アジアで機能性油脂の販売が好調に推移しました。また、国内で食品ロス削減に貢献する機能性マーガリン「マーベラス」シリーズなど、高付加価値製品の販売が好調でした。食の多様性や環境に配慮したプラントベースフード「デリブランツ」シリーズは、国内の製パンやカフェメニュー向けに採用件数が順調に増加しました。

○主要因

売上高	(好調) 機能性マーガリン「マーベラス」シリーズ (製パン) (好調) ホイップクリーム (洋菓子・デザート) (好調) プラントベースフード「デリブランツ」シリーズ (製パン、カフェ)
営業利益	(+) 数量、価格 (-) 固定費

**(ライフサイエンス事業) 減収・営業損失**

農薬は、インドでの在庫調整の影響や、北米で前年度末に殺菌剤の出荷が前倒しになった反動もあり、販売が低調に推移しました。利益面は、海外での農薬販売低迷とブラジルでの販売単価下落により、営業損失となりました。

○主要因

売上高	(低調) インド/農薬全般、欧州/殺虫剤の原体、北米/殺菌剤 (堅調) ブラジル/殺菌剤
営業損失	(-) 数量、固定費 (+) 為替

## (2) 当四半期の財政状態の概況

## 連結財政状態

(単位：億円)

	当第1四半期末	前年度末	増減	増減率(%)
資産合計	5,438	5,430	7	0.1
負債合計	1,983	2,033	△50	△2.5
純資産合計	3,455	3,396	58	1.7

注)金額は億円未満を切捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入。

## ○主要因

- (資産合計) 棚卸資産の増加
- (負債合計) 賞与引当金、短期借入金の減少
- (純資産合計) 為替換算調整勘定の増加

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の実績及び最近の業績動向を踏まえ、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を修正しました。

詳細につきましては、本日(2024年8月9日)公表した「2025年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## ● 「2025年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ」

<https://adeka.co.jp/ir/library/pdf/240809pe.pdf>

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	98,429	93,816
受取手形、売掛金及び契約資産	116,937	113,844
有価証券	5,498	5,498
商品及び製品	64,236	67,791
仕掛品	8,464	8,476
原材料及び貯蔵品	41,919	41,430
その他	12,490	11,509
貸倒引当金	△1,378	△1,437
流動資産合計	346,598	340,931
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	40,134	40,570
機械装置及び運搬具（純額）	35,684	35,840
土地	31,467	31,660
その他（純額）	19,553	21,811
有形固定資産合計	126,840	129,883
無形固定資産		
技術資産	4,476	4,227
顧客関連資産	2,328	2,288
その他	9,692	9,858
無形固定資産合計	16,497	16,374
投資その他の資産		
投資有価証券	42,013	42,396
その他	11,106	14,268
投資その他の資産合計	53,119	56,664
固定資産合計	196,458	202,923
資産合計	543,057	543,854

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	64,903	63,799
短期借入金	26,780	25,038
未払法人税等	4,827	3,829
賞与引当金	3,587	1,755
その他の引当金	126	21
その他	34,202	29,777
流動負債合計	134,427	124,221
固定負債		
社債	14,381	14,537
長期借入金	22,283	27,394
退職給付に係る負債	20,526	20,658
その他の引当金	71	382
その他	11,684	11,115
固定負債合計	68,947	74,089
負債合計	203,374	198,310
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	23,048	23,048
資本剰余金	20,181	20,256
利益剰余金	213,125	214,818
自己株式	△3,375	△3,451
株主資本合計	252,979	254,672
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,665	11,736
土地再評価差額金	3,330	3,330
為替換算調整勘定	17,147	21,082
退職給付に係る調整累計額	20	30
その他の包括利益累計額合計	32,163	36,179
非支配株主持分	54,539	54,691
純資産合計	339,682	345,543
負債純資産合計	543,057	543,854

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	94,596	98,160
売上原価	71,105	71,779
売上総利益	23,490	26,380
販売費及び一般管理費	16,068	17,691
営業利益	7,422	8,688
営業外収益		
受取利息	542	623
受取配当金	319	284
持分法による投資利益	265	202
為替差益	615	537
その他	213	445
営業外収益合計	1,955	2,092
営業外費用		
支払利息	774	937
デリバティブ評価損	364	—
その他	88	112
営業外費用合計	1,227	1,049
経常利益	8,150	9,731
特別利益		
固定資産売却益	37	27
特別利益合計	37	27
特別損失		
固定資産廃棄損	130	122
投資有価証券評価損	—	21
特別損失合計	130	144
税金等調整前四半期純利益	8,057	9,614
法人税、住民税及び事業税	2,695	3,419
法人税等調整額	△418	△913
法人税等合計	2,276	2,506
四半期純利益	5,780	7,108
非支配株主に帰属する四半期純利益	660	286
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,120	6,821

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	5,780	7,108
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,376	△25
繰延ヘッジ損益	△22	—
為替換算調整勘定	6,174	5,495
退職給付に係る調整額	0	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	61	52
その他の包括利益合計	7,590	5,517
四半期包括利益	13,371	12,626
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,950	10,836
非支配株主に係る四半期包括利益	2,420	1,789

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っています。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっています。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

一部の子会社については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品 事業	食品 事業	ライフ サイエンス 事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	49,794	20,775	22,180	92,750	1,845	94,596	—	94,596
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	34	48	3	85	5,217	5,303	△5,303	—
計	49,829	20,823	22,183	92,836	7,063	99,900	△5,303	94,596
セグメント利益	5,534	370	1,146	7,051	326	7,377	45	7,422

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事及び工事管理、物流業、不動産業等を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額45百万円は、セグメント間取引消去額を含んでいます。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品 事業	食品 事業	ライフ サイエンス 事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	56,455	20,995	19,239	96,689	1,470	98,160	—	98,160
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	36	37	1	75	2,988	3,063	△3,063	—
計	56,491	21,032	19,241	96,765	4,458	101,224	△3,063	98,160
セグメント利益又は損失(△)	7,524	1,381	△361	8,544	74	8,618	70	8,688

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事及び工事管理、物流業、不動産業等を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失の調整額70百万円は、セグメント間取引消去額を含んでいます。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次の通りです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	4,076百万円	4,385百万円